

《担当者名》大友芳恵 [otomo16@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

高齢者福祉といえば、近年では“介護問題”が強調されているように思われるが、（介護の重要性は否定するものではないが）社会福祉を推進する上で根源的に不可欠な「生活の支援」の視点からみた“高齢者福祉”の追求がおざなりになっている感がある。

そこで本論では、尊厳と権利の尊重を基底的にとらえ、社会福祉実践のあり方を中心として研究を進める。具体的には、学生の関心領域を中心に据えて授業を展開する。

【学修目標】

尊厳と権利の尊重を基軸とした、社会福祉実践のあり方について考察するとともに、望ましい今後の方向性について提言できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ） 5	生活困窮とソーシャルワーク	高齢者の生活をめぐる現状と諸課題を理解する	大友
6 ） 12	支援の方法としての環境	高齢期を支える地域包括ケアシステムの批判的検討 ソーシャルワークにおける「人」と「環境」の相互作用の再検討を通して、支援の方法論について説明できる	大友
13 ） 15	社会福祉実践の在り方	本論の総括を図る	大友

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業への準備状況30%、課題への取り組み40%、討論での参加態度・意欲30%

【教科書】

なし

【参考書】

随時提示する。

【学修の準備】

各回の授業テーマに沿った文献、資料等についてよく読んで、理解した上で臨むこと。